「ひらかた」を30議員が

９月定例月議会では、９月11日・14日・15日・16日の４日間にわたって一般質問が行われ、30人の議員が本市の抱える諸課題について、市の考えをただしました。質問の内容については、各議員が項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

3日目（9月15日）

動画はこちら！

①鍛治谷知宏　②三和智之　⑤長友克由　⑥泉　大介
③峠　賢一　④八尾善之　⑦藤田幸久　⑧番匠映仁

ストマ装具 購入価格に合わせ給付限度額の引上げを

公明党議員団
千葉雅民



議員　ストマ装具（＊16）は生活必需品で、約３日に１度交換の必要がある。過去20年間で価格が40％増加したにも関わらず、その間、一度も給付限度額の見直しがない。増額する考えはないのか。

所長　他市の状況や市場価格の調査等を行い、ストマ装具を含めた日常生活用具給付等事業の見直しに向けた検討を進める。

要望等　購入価格と給付限度額との乖離や当事者の声を把握し、早期の制度見直しを求める。

相談ー相談者のニーズを捉え
外国人ナー実効性の高い運営を
コー

議員　誰一人取り残さない相談体制の整備を要望し、８年９月に外国人相談コーナーが開設された活用具給付等事業の見直しに向けた検討を進める。

室長　オンライン映像通訳システムと32言語対応の通訳表示機を導入し、相談者の表情を確認しながらの対応が可能である。

要望等　新たな課題や相談者のニーズを捉え、庁内や支援団体等との連携強化により、実効性の高い相談窓口運営を求める。

在宅避難者等への支援 地域組織の連携強化とデジタル技術の活用を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
泉　大介



議員　この間、発災直後の在宅避難者の安否確認や支援物資の個別配送等の対応に、消防団と自主防災組織との連携や、地域ニーズを把握できるデジタルツール導入を求めてきた。検討状況を聞く。

部長　両組織の連携強化は、意見交換の機会確保、消防団の校区自主防災訓練の実施支援等に努めている。また、デジタル技術は、府と府内市町村で構成する協議会で、避難者情報の効率的収集等を可能とするシステム開発が９年度から始まる予定で、本市も内容を精査し、意見、要望していく。

要望等　災害は府のシステム開発を待ってはくれない。他市の事例を参考に、平時から多様な主体と協議を重ね、具体的な協力協定締結等を進めるとともに、平時は自治会の電子回覧板、有事は物資ニーズ等を送信できるツールの活用の検討を求める。

その他の質問

○子どもがＡＩ時代を生き抜く力を育む教育を

○自立して課題解決する持続可能な地域組織を

たばこ税活用 健康医療都市として市民の健康守る取組を

公明党議員団
藤田幸久



議員　たばこ税を活用した受動喫煙防止施策を行う自治体もあるが、本市で取り組む考えはないのか。

部長　市たばこ税は一般財源のため、特定施策の財源として位置づけるものではないが、受動喫煙防止の取組については、その必要性や効果を踏まえ、予算を確保していく。

要望等　健康医療都市として、たばこ対策や市民の健康を守る取組に、たばこ税の充当を求める。

読み書き障害への支援
丁寧な周知と啓発を

議員　読み書き障害のある児童、生徒に対する学校現場での支援を聞く。

部長　読書や学習を補助するリーディングルーラーなどのツールの活用や、1人1台端末の文字拡大、音声読み上げといったアクセシビリティ機能を生かした指導を行っている。

要望等　困り感を抱える児童、生徒の症状を周囲が理解し、受け入れられるよう、市が作成した支援教育サポートブックなどを活用した丁寧な周知と啓発を求める。

若年層定着の推進 シビックプライド醸成に日本一のスポーツ活用を

連合市民の会
番匠映仁



議員　スポーツを通じたコミュニティー形成等は、本市に若者を定着させる上で大きな推進力となる。大阪ブルテオンのような日本一の地域資産を枚方市駅周辺再整備に組み込み、若者のシビックプライド（＊12）の醸成につなげることへの見解を聞く。

市長　様々な地域資源の発信や、市駅周辺に若者が魅力を感じる機能の導入を検討することで、若い世代が愛着や誇りを育めるまちづくりに取り組む。

活動の開展部地
活動機会を奪う現状
未来に希望を持てるのか

議員　部活動の地域展開の過渡期において、子どもたちは部活動自体の廃止を恐れ、もっと練習したいと言えない現状がある。子どもたちが主体的に行動する機会を奪うようなまちの未来に市長は希望を感じられるのか。

市長　本件に限らず、思いを伝えることをためらう状況は望ましくない。子どもたちが活動を続けたいと思える環境づくりを進め、希望を持ち成長できるまちにつなげる。

4日目（9月16日）

動画はこちら！

①岡市栄次郎　②一原明美　⑤門川紘幸　⑥高野寿陛
③大濱暢祐　④千葉雅民　⑦漆原周義

市立の就学前施設 スピード感を持ち具体的な再編方針を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
鍛治谷知宏



議員　市立の就学前施設の多くで老朽化が進み、認定こども園化や施設の集約・複合化など、将来の具体的な方向性を早期に示すべきだが、考えを聞く。

部長　就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランを基本に、関係部署と連携しながら、できるだけ早期に方向性を示したい。

要望等　施設再編には時間を要し、建設コストも上昇する。全庁横断的に連携し、早急に再編方針を具体化すべきと意見する。

遺贈寄附
市民の地域貢献の思い形にするための取組を

議員　市民が地域のため財産を役立てたいとの思いを形にする観点から、遺贈寄附の方法の周知、相談から寄附受入れまで支援する仕組みの整理が必要と考えるが、見解を聞く。

室長　使途の取扱いや終活との連携が必要なため、他市事例を踏まえ、関係部署と遺贈寄附の仕組みの在り方の検証に取り組む。

要望等　市のために何か残したいという思いを受け止め、将来のまちづくりにつなげるよう求める。

災害時の車中避難 受入れルールを整備し市有地を駐車スペースに

日本共産党議員団
三和智之



議員　災害時は、様々な事情で指定避難所に入れない乳幼児、高齢者、障害者がいる世帯等が車中避難を選択することが想定されるが、見解を聞く。

部長　車中避難は避難行動の一つと想定しており、５年に民間事業者１社と協定を締結し、災害時には事業者の駐車場が避難スペースとして開放される。

要望等　車中避難受入れに係るルールを整備し、市有地を活用した駐車スペースの確保を求める。

淀川河川敷スケートボードパーク
市民意見の実現を

議員　９年３月末完成を目指す淀川河川敷のスケートボードパーク整備に関する意見交換会が開かれたが、出された市民意見をどう反映するのか。

部長　意見を踏まえ、当初予定から面積拡大を検討しており、他の意見も可能な限り反映していく。

要望等　ベンチや屋根、照明、コインロッカーの設置など具体的な意見を生かし、市民とともに育てるスケートボードパークの実現を求める。

高齢者の低栄養 早期発見で未然防止を

公明党議員団
峠　賢一



議員　閉じ籠もりや低栄養に陥る高齢者を地域の見守り等で早期に発見し、支援へとつなげる必要があるが、取組を聞く。

部長　国保データベースシステムを活用し、リスクのある人に個別に働きかけをしている。今後も、関係機関と連携し、必要な支援や事業につなげる。

要望等　民間店舗と連携し、低栄養を未然に防ぐスマイルケア食（＊10）や特別用途食品（＊11）の周知啓発を求める。

激甚化する豪雨や落雷
生命と財産守る対策を

議員　先の千葉豪雨では、アンダーパスの冠水に気づかず、車両が水没する事故が発生した。本市の冠水対策強化の考えを聞く。

部長　度々冠水している蹉跎中学校南手の出口アンダーパスにおいて、冠水前のレベル３大雨警報発表段階で予防的な通行止めを試行するなど、事故の未然防止に努めている。

要望等　近年激甚化する豪雨や落雷に対し、市民の生命と財産を守る防災、減災対策の推進を求める。

地域の移動を支える公共交通の維持を

連合市民の会
八尾善之



議員　全国的に担い手不足が深刻化する公共交通の維持へ、この間、市独自の踏み込んだ支援を求めてきたが、現時点で想定している支援策を聞く。

また、９年３月のバス路線廃止に伴う代替交通を持続可能なものとしていくため、本市が担う役割と財政的責任を聞く。

部長　新たな運転手確保に向け、財政的支援も含め、京阪バス株式会社と協議を重ねている。

部長　地域公共交通の安定的維持は重要な取組と考え、効果や他施策との優先性を見極めた上で、持続可能な施策となるよう、必要な財政措置を講じていかねばならないと考える。

要望等　バス路線が存続しても、今後、運行頻度や運行時間帯、輸送力などが低下すれば、現在のように地域の移動を支えることはできない。次期都市計画マスタープランにおける公共交通ネットワークについては、路線の存続だけでなく、市民が気軽に移動できる交通として機能しているかの視点を持つよう求める。

市長が旗振り役となり東部地域の活性化を

自由民主党・無所属の会
長友克由



議員　ＪＲ学研都市線は、人口増加が進む北摂各市の路線と同様に大阪中心部に乗り入れ、将来は北陸新幹線との接続で利用者増が見込まれる。このポテンシャルを生かし、機を逸せず市長が旗振り役となり、東部地域を活性化すべきだが、見解を聞く。

市長　交通ネットワークの維持に努め、同線沿線のまちづくりとも相乗的な効果を生み出せるよう、地域等と連携し、東部地域の活性化を推進する。

政治的中立性に配慮した平和学習等の実施を

議員　中学生の保護者から、沖縄を題材にした平和新聞の作成において、テーマ例が基地問題に偏っている旨の相談があったが、政治的中立性を欠いていないか。

部長　多角的に課題に取り組めるよう、ひめゆりの塔等の事例も挙げていたが、誤解を招き、配慮不足であったと考える。

要望等　教育基本法が定める政治的中立性に配慮し、平和学習や多文化共生教育を行うよう求める。

市役所の窓口 現状の把握と調査分析し開設時間見直しの検討を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
門川紘幸



議員　市役所の窓口開設時間は職員の勤務時間と同じで、窓口対応以外の業務は残業で行う前提かと危惧する。課題を聞く。

部長　都度の法改正等に対応し、職員が知識やスキル向上を図る時間が十分でない、市役所閉庁間際の窓口対応で、後処理等が必然的に時間外勤務となるなどの課題がある。

要望等　時間帯ごとの来庁者数や手続等を調査し、課題を見極め、窓口開設時間見直しの検討を求める。

出前授業
多岐にわたる学習機会より一層の拡大を

議員　企業や職員による出前授業は、子どもたちの視野を広げる役割も大きい。地域を学びの場とすることも効果的な方法と考えるが、取組を聞く。

部長　地域社会を題材とした学びとして、ペットボトルの蓋から作製するストラップの考案など、ごみ問題に係る意識啓発推進の事例などがある。

要望等　キャリア・金融・防災教育など多岐にわたる出前授業を支援し、より広げていくよう求める。

長尾地域のまちづくり 3地区の準備組合活動に支障が出ないよう支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
高野寿陛



議員　長尾地域３地区の土地区画整理準備組合が共同実施している環境影響評価に係る調査業務の進捗状況を聞く。

部長　大阪府条例に基づく大規模調査のため、大阪府や近接する京都府と協議を行っており、引き続き庁内関係部署とも連携し、協議や調整を進める。

要望等　同準備組合の活動に支障が出ないよう、関係団体等との協議の把握や早期の接触など、行政としての支援を求める。

野線 交通道路の安全対策
御山 御久 府へ再度申入れを

議員　津田小学校の通学路である府道交野久御山線は交通量が非常に多く、保護者も不安に感じている。なぜ道路管理者の府は、横断防止柵設置の要望に対応しないのか。

部長　府からは横断防止柵を設置すると、歩行者の通行空間が狭くなり、自転車と接触する危険性も高まるとの見解を得ている。

要望等　保護者や学校の声を受け止め、府へ、実効性ある代替策の実施を再度申入れるよう求める。

痛ましい動物虐待事件 譲渡先への確認厳格化は動物の命守る行政の責任

命を守る政治の会
漆原周義



議員　２年６月、本市が動物の譲渡先として登録した団体による動物虐待事件が発覚した。市は、団体が個人に再譲渡した状況を直接確認しておらず、本市が譲渡した動物が事件に関わっていたかは不明である。譲渡先の個人への直接確認などを譲渡要件に加え、確認体制を厳格化すべきではないか。

所長　要件追加の是非も含め、運用体制の再構築に向け、研究していく。

要望等　ペットとともに生きる社会を目指し、その命に最後まで責任を持つのが動物愛護行政である。

TNR活動
ボランティアに市政功労者の表彰を

議員　多大な労力をかけ、自治体に代わりＴＮＲ（＊17）活動に取り組む動物愛護ボランティアを、市制施行80周年を機に市政功労者として表彰すべきではないか。考えを聞く。

市長　ボランティア活動による現場での取組に深く感謝している。市政への大きな貢献を認識しており、そうした多くの人を表彰していきたいと考える。

プレコンセプションケア 庁内横断的に連携し普及啓発と環境づくりを

公明党議員団
一原明美



議員　本市は、健康増進、母子保健、学校教育の各分野でプレコンセプションケア（＊14）に関わる取組をしているが、庁内横断的に連携し、一層の充実が必要と考える。見解を聞く。

副市長　関係部署がそれぞれの強みを生かしながら連携し、若い世代の健康と将来の選択を支える取組、普及啓発を進める。

要望等　若い世代が希望を持ちライフプランが描けるよう、力強い普及啓発と環境づくりを求める。

北宮北地
旧中宮小学校跡地
安全・環境対策で地域負担を最小限に

議員　旧中宮北小学校跡地活用方針を新たに策定し、防災、児童福祉、健康増進の３つのゾーンを設定した理由を聞く。

部長　ゾーンを明確にすることで、将来にわたって地域の良好な住環境を維持し、周辺地域と調和した施設が立地し続けることを目指して定めた。

要望等　同地周辺では工事が続く。地域の要望を踏まえ、住民の負担を最小限に抑えるための実効的な安全・環境対策を求める。

子どもの学び支援事業 体験機会の格差解消へ対象年齢・世帯の拡大を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
岡市栄次郎



議員　子どもの学び支援事業（＊13）は、経済的な理由による学習やスポーツなどの体験機会の格差を解消する重要な一歩である。中学生の段階でも将来の進路や自立につながる機会が必要だが、対象年齢拡大への見解を聞く。

所長　継続した支援の必要性を認識しており、今後、事業効果の検証等を踏まえ、検討していく。

要望等　生活保護受給世帯だけでなく困窮世帯も対象とするよう求める。

FCティアモ枚方
ホームスタジアム
幅広い検討を

議員　FCティアモ枚方がＪリーグクラブライセンスを取得するには、ホームスタジアムである市立陸上競技場において、どのような整備が必要か。

部長　Ｊ３基準のスタジアムとするためには、入場可能人数を5千人への拡大、高照度の照明や関係者の諸室などを要する。将来を見据え、穂谷川清掃工場跡地など、一定の敷地面積を確保できる候補地も含めて、幅広い検討を求める。

幼児療育園跡地活用 公募要件等を見直しエリア全体の価値向上を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
大濱暢祐

議員　６年度に不調となった幼児療育園跡地活用のプロポーザル方式（＊15）について、再公募では、要件を見直すのか。

部長　物価高騰等厳しい社会情勢が続く中、事業の実現性を高めるため、事業者からの意見を踏まえ、公募要件等を見直す必要があると考える。

要望等　地域住民や事業者の思いをしっかりと共有しながら、枚方宿地区と淀川河川エリア全体の価値を高める取組を求める。

デジタル人材の登用でオンライン活用の推進を

議員　保育所等の利用申請におけるオンライン活用の状況について聞く。

部長　７年度より、申請から要件書類の提出までをオンライン上で完結できるよう見直しを行った。用により業務が改善しているという。システム標準化も見据えた継続的な登用とともに、業務効率化に向け、今回の見直し事例の横展開に加え、外部・副業人材の積極的な登用についても求める。

委員協議会だより

総務委員協議会	8月26日
教育子育て委員協議会	8月25日
市民福祉委員協議会	8月27日
建設環境委員協議会	8月24日

詳細はこちら

12月定例月議会

12月4日 開催

日程はこちら（随時更新）

詳しい日程は、11月27日の議会運営委員会で決定します。

＊7　緑被率…対象となる地域の面積に対して、緑に覆われる土地が占める割合のこと。

＊8　規格葬儀…市が定める規格や料金に従い、市が指定する葬儀業者が執り行う簡素で低廉かつ厳粛な葬儀のこと。

＊9　学校と教師の業務の３分類…文部科学省において、教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」に分類されたもの。

＊10　スマイルケア食…農林水産省が、国民の健康寿命の延伸に資するべく整理した新しい枠組みで、これまで介護食品と呼ばれてきた食品のこと。

＊11　特別用途食品…乳児の発育や、妊産婦、授乳婦、えん下困難者、病者などの健康の保持・回復などに適するという特別の用途について、消費者庁の許可を受けて表示を行う食品のこと。

＊12　シビックプライド…地域や自治体に対し住民が持つ愛着や誇り、地域に貢献する意識のこと。

＊13　子どもの学び支援事業…生活保護受給世帯の小学３～６年生を対象とする学習塾や習い事にかかる費用を補助する事業のこと。

＊14　プレコンセプションケア…性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠、出産を含め、将来のライフプランを考えて健康管理を行うこと。

＊15　プロポーザル方式…複数の事業者から業務に関する企画、技術等の提案を求め、その内容や業務遂行能力が最もすぐれた事業者を契約の相手方として選定する方式のこと。

＊16　ストマ装具…病気や事故のため、新たに腹部に造設された排泄口（ストマ）からの排泄物をためる袋のこと。

＊17　ＴＮＲ…Trap（捕獲）、Neuter（不妊去勢手術）、Return（猫を元の場所に戻す）を実施すること。

※　答弁者は、役職名（一部）を記載しています。例：▶部長…危機管理部長、土木部長、総合教育部長など　▶室長…市長公室長　▶所長…福祉事務所長、保健所長

※　この紙面は、発言当時の会派名で掲載しています。